

<別紙 3>

■ 装置仕様

① COMCIPHER XL2B

	項目		内容
1	装置名称		COMCIPHER XL2B
2	暗号化方式		AES (FIPS-197 準拠)
3	キービット数		256bit
4	キー構成		(1) 共通鍵 ① マスタキー (ワークキー暗号化用) ② ワークキー (ユニキャストデータ暗号化用) ③ マルチキャストキー (マルチキャストデータ暗号化用) (2) 公開鍵 (マスタキー暗号化用)
5	適用回線		レイヤ 2 サービス回線 (広域イーサネット接続サービス)、データファイバー
6	スループット (双方向)		10Gbps
7	インタフェース	WAN-CIPHER	10GBASE-LR/10GBASE-SR (XFP モジュールの選択により変更可能)
8		CIPHER-LAN	10GBASE-LR/10GBASE-SR (XFP モジュールの選択により変更可能)
9		ローカルポート	100BASE-TX (MDI-X)
10	暗号化/復号フレーム		ユニキャスト、マルチキャスト
11	適用構成		ポイント・ツー・ポイント、ポイント・ツー・マルチポイント、 マルチポイント・ツー・マルチポイント
12	物理鍵による保護機能		物理鍵により装置設定用ローカルポートを保護
13	対向可能な暗号装置数		1023 台 (同一ネットワーク上に 1024 台の設置が可能)
14	登録及び学習可能な 端末数		2000 台 (対向可能な暗号装置数含む)
15	透過機能		・ マルチキャスト暗号モード (有効) : フロートキャスト/VLAN タグ/スパンニング ツリープロトコルは暗号化せず透過 ・ マルチキャスト暗号モード (無効) : フロートキャスト/マルチキャスト/VLAN タグ/スパンニングツリープロトコルは暗号化せず透過

	項目	内容
16	不正行為に対する 鍵保護機能	不正行為・装置解体時に、設定情報及び暗号キーを自動消去
17	ハイパス機能	手動による物理レベル、コンソールによる論理レベルハイパス
18	診断機能	ROM/RAM チェック、ローカルバスチェック、テーパーチェック 乱数生成チェック等
19	モニタ/管理機能	(1)装置前面の LED 表示 (2)ローカル端末ブラウザソフトによる GUI でのアラーム/アラーム履歴表示 (3)イベント履歴出力機能(アラーム履歴含む) (4)SNMP 対応 (5)NTP 対応 (6)Syslog 対応
20	温度条件	0～40℃
21	湿度条件	85%以下(但し結露しないこと)
22	電源条件	AC100V±10V, 50/60Hz
23	消費電力	約 45VA
24	VCCI	Class B
25	外形寸法	約 420(W)×370(D)×88(H)mm 高さはコーム足(14mm)含まず
26	質量	約 8.5kg

以上